と証機の政治強化に手をつける。たち省の壁台に関しては豫算成立

廣田首相の行政改革意見

ものと見られるが、更に明年度像一後の後題

國策を企畫統

堀力統制機關を設置

"世宮市の御光準にて御参拝" 院長、三鴉倫邦長の変上を開橋殿事長以下に理講を賜ひ三 いて同五十八分礼機抵訴院に

天皇に下には午町八 その他の劉表及び葛原等天管派付けられ次いで鄭確認にて産業付けられ次いで鄭確認にて産業を配荷と百九十名に別立邦滕印 野鬼解倒着、地方官民多數拳連 「野児心西」 天皇 昨下には七日

二龍第一艘挺勢の個梯加所にてれる北海道梯梁武職周に行幸、れる北海道梯梁武職周に行幸、はなる北海道梯梁武職周に行幸、の郡を選渉三十五萬アール、全の郡を選渉三十五萬アール、全

六十版を補與深げに副遊戲あら標本原列を大陸、概本解列を大陸、概本解二十六 明的報野変数に向はせられた せいれた後、御愛出りに行う れ北海道林業試験国に職権のた 七分治院御殿礼候縣に成らせら

北海道廳に行幸遊ばさ れたこの小屋に殊のほか散魔部

ワシントン六日發本 條約嚴守さるれば 米はあくまで不干渉

府は極東に闘する限り「守される戦りあくまで予刊戦戦策」金剛書を登信してるるが、米國政「大鵬心を得するが現仏部域院が厳一金剛書を登信してるる は日文間の総管に関しては勿論東「流を過去さず直もに行動による曲 するものよ如く 米國政府 | 他に駆する等の場合には無益な武
獨力行動する決意を有る整幹する互影や米國の機能が危

寒國戦府は騙りに米國戦所との後一**社特電**】 日支縄像緊迫と共に

狀况を御聽取

任商党局長(一等) がその後住、その他思長敬の異動しれのいくのと、度胸

に伴ふ地方長官吳鵬は七日内所省 氏の東北典業様式電が副総裁鉱伝

任山形縣知事(118)

財産地北美につき 共衆的に称ぶた。織派の第二式命献事業の記遣る 展 囲を記上、第14年日の金乗命開工録義士灣の準定向上帰還土華育の「聚選版字は脳神士率度から 守正生 | 府林殿満空は歯平度発鳥に五白鷹

四千八百萬本植樹

も着々と追びしてひるが本。事に着于するとになったが側年度

時よりは金野郡渡山門長十二名を の検討を行ひ、正午体制、午後

に職員の相は希望前に事務所率

磐人との蟷螂により決定された文船側の砂炭飯島両を見て泥鰌に靠るべく目下双方の上鑵として將常有地の目文園空調整に馳する明鰺なる鯵勘表示を繋末しこれに替して群命

決定した機様である。この情況においては光づ用越大使より桑島東盟同長の既行せる本質の訓令も

の情報によれば川越、勝介石第一次湾流は、日

日間と関する前

題続あるものと機想されるので交渉の関係は多大の困難が作ぶものと見られてある。(窓道七川越大使

メリカ政府、大統領選擧後

此同戦線を提議せん

天地玄黃

大統領理機能了後米國が問題

一开物經資供電荷取締役 森 為種 公理

日支交渉の成行に重大關心

町步行約四十八百里本五面町

前五事 前三 奥田命爾務局商政議長

的官房會計課長

国令国の返することによってゐる 尚礼腹鱗由結督島長隣口 年、即氏| 分といつては座に七八人-

蔣會談

けふ午後行はれ

務局長 (三半)

いまことへにゆっと同人つど

やねえんでけ

ナから、もつたア資際もいはせて

10

あょうめる

これはりがけ、よらし、他の場を通りとける。 ちんしゅうかいこうておっぱに行つ つて、艦塊森の下まで来たと思った脚りがけ、ぶらし、他の端を通 龍の中を仔犬でも曳摺るやうに、 いこつそり選手の破ればから針を 忍はせて、聞いてゐるとも知らす 知らわえが、あの練解に生門の屋 くんねる。何んといふ無数だか 壁だと思ふか

亜 (A)

作

1.0 艫

おのなけれたいの語像

女子、考の名言。

女は弱し

あてこの娘が、行方知れずにな たが、どとにあるか、こいつア てやすから どこにあるん めえら 別つちやア の概念んに用

タンサーから映画がにより、天成の美観と洗練さり、天成の美観と洗練さり、天成の美観と洗練さり、大成の美観と洗練さり、大成の美観と表現された。同題アン活動の前となる問題アン活動の前となる問題という。

のをご馳ルン んずる やせらのでね

美しきが故に誘惑の輩牙を

《》《社会主义》

表のはでジリーへと跳びようを挑かったといいます。 ・ のな感が表々で歌歌せんと する某が似等而して駆逐しんと する某が似等而して駆逐した。

誘惑、陷穽~

おり生きんがほには実施しれてアーマー見よー映形られてアーマー見よー映画といる。

れた脳脈の道・



行数

本の大長篇識切り! を「民稿紙百餘枚 で人民稿紙百餘枚 で人民稿紙百餘枚 所士十一月點が見逃しなり

はれてゐる脈しき爭闘だ。はれてゐる脈しき爭闘だ。

にも悲劇すぎる! 事質にしては餘り



大野地大震を勝り、一大関地へや人を飛撃・十一月城や、大野地大震なの常士を駆けの外に飛り、面に、小田勝松 冒上十二 人讀物

CARLES HEREIT CONTRACTOR The state of the s

一人が曳摺つて来たなア、なんと

お聞にも残去されず、ラギ和財にも残去されず、ラギ和財にも残去されず、ッ特種オにも放送されない特種オにも放送されない特種の密表が可り要はたった感、我感激を到で、日本では、大きなので、一般には、大きなので、一般には、大きなので、一般には、大きなので、一般には、大きなので、一般には、大きなので、一般には、大きなので、一般には、大きなので、一般には、大きなので、一般には、大きなので、一般には、大きなので、一般には、大きなので、一般には、大きなので、一般には、大きなので、一般には、大きなので、一般には、大きない。

朝鮮產業經濟調查會

委員けふ發令

内鮮満官民の權威者を網羅

員を命す(各通)

于·與架會此學務取締役 一一并 榮長

京城帝國大學教授 小川林 《山榆山技師

しとくなったが七日変 省、預新軍、大學教授、さらに内 として器様、権材、大学、商工四二事材質、五支師がほ命がれ場託

張る二十日から 十四日まで五日間

注目される

本原明年度優別は最に態度された一種誘調査所へ出版する必要上東上 林局長近く一應歸任

本府明年豫算

|| | 近極戦等を極々の中央との振動|| 「帰版によつて大製省の此も見透し」機要高等は影響事、旧澤同極事との歌・一般や組織入れ、増越|| 「照解性することになるのでこの | 十名田郎、キっの歌 高等连続部入四郎、子二百四十二萬圓に達 | 中の林城街局長は十七、十八日郎、法院子鞭事、同極事局極軍等約 の協議を終つたので司法行政能に

時年上り門場を成城法院院最報

出す決意を行してある、西に来、紫、柳二國歌除去を直接目的とする國際共同飛線に乗除去を直接目的とする國際共同飛線に乗たして愈ま大統領深樂後國際、貿易再建のたとして愈ま大統領深樂後國際、貿易再建のたとして愈ま大統領深樂後國際、貿易再建のたとしての場所は過剰度でした来、柴、郷三國運搬度を製作するリカ政府は過剰度でした来、柴、郷三國運搬度を製作するリカ政府は過剰度を制度した。

マルケの射殺は時の距離であり、いづれ濃遠も我国機能に参えが過速シャハト維領和の総職を以てするも現在のままではある、飛作する通信総定はリラの平衡明下後マルケのみである。 界部所の復興の起源となるであら

する國際貿易丹建策は十分各國をして追 る。同時に米政府は難能内務理により米國資本の記

尿畿道神饌畓鎌入

待望の

一大記念寫眞帳出づ!備へよ一

戶化

册

鹿島九船底

风

仙

کے

·c

\$ 0

他みでかはや

服吳京級高

特

ろく位だ、死骸は

シラブ

林伯才

IJ

菊 優秀寫眞五百餘枚 美術グラビヤ高級印刷 倍版 九 十 六頁

紙幣は白紙

|貪等々採錄せし髱真五百餘枚、堂々たる菊倍版九十△東京オリムピックの運命を賭けて△待つは東京大

、高級印刷の美術髱具帖出づ!

定價六十錢

本紙月極讀者に限り五十銭

京

購入申込所

電話本局 一一八五

振替口座京城三00番

はますし、愛問を深めてゐるはますし、愛問を深めてゐる はたいした照得がもてぬ、また謎 質しては態思經説とみられ情報に すべきかは、今や大きな戦闘問題 るが、果して復野が及ぼす被抗は 風的山を管内に持つ京城開始とで として常局でも研究に腐心してる ので、後等不良少年を如何に善意 との位あるか不良少年の活躍する

連れの関が訪れ競技器を經營すれ一数は首四十九名で、被当代数五百 囲を自動とすり替へ要を曝ぎした路四丁目大質旅館で呼に五百八十 を持たせて面談するからと前し組ば騙るからと共同經常を敷め干国 東大門署では国出により各署へ手配置後中 氏(こ)方へ六日午後七時半頃二人 八十代、その被匪派は一萬一干五 昭和十一年一月から六月までは、百八十九四廿五銭に遂してゐる、 年間同者へ機群されたチンピラの 整三百卅六件、被鹿筋四千三百八 昭和十年一月かり十二月まで一ケ 検撃した者。百五名、

八番へ電話せられ度し

頭

R者の必携鞭!

中根フサ殿急用あり至急本局

三大八

出べると願いが、称半最に同盟 けの総別がこの様くべき数字を

みない

の水楽

のmai®mai今

痰

昨年より一 降りました

船域七名)の船条六十二名、船域「中には配変の次のあまりにも纏りた、結局腥品丸」(定貨客六十一名一二月と見られれば低な形相と化し で名のうち数助された指客四名、一果てた姿に流行の夫もぞッーとし ことが贈つ一てある、復見された死體は何れも

へ 結局語が、定位をネーア 配體と選ふ ことが贈

は仁川常立機能の額里塗鯉の 「本殿敷されるので、あだかも無線」 相當の家庭 に生れなが 恵安に味かされて仲間入りをした「観出第一水門で御好された鯉や園 老繭の爺は飯敷されても、そのま「年渡の中には「銀出第一水門で御好された鯉や園 老繭の爺は飯敷されても、そのま「年渡の中には「銀上十五郎」は欲しいまゝに悪を鰥く後祭恵少」もの、駆はあまり厳旅過きるため「撮影以に一般説実の力を求めてみ」大京城の層に踏るチンピラー議定「を我家の如く心腔で、街を演して「ら濡れた家塚朝代のため戦路した 鍾路署だけで年に被害一萬圓

無残・十歳の花嫁さま 七年間の嘆きを訴ふ

近生れ李自己をさん(今は十六歳) が強に家庭的場を生む --幼時開発に死刑、銀河の北話 遊

第西印席料理う伐れ 全般天氣豫報

りかつたのは、修真に疣やした。大量この奈井権分によつて露道製甲庫署の充質は期せられたので今後に重常と関力して一層変家の職分なる歌力を廃庫し、行業疾その他所形態域の由朝所輸をほじめ斉鵬の正規解鍵師は完全にカモソテージェされ会選から党れることが行作"養業予鑑減五名がそれた入海軍門に譲渡し手来から干五百米の祭中より詳細に撤分したが、その結果が間に放る勝道原祭施減は十万年、養業予鑑減五名がそれた入海軍門に原郷し手来から干五百米の祭中より詳細に撤分したが、その結果が間に放る勝道原祭施減は十万年

從業員待遇改善と

ビス改善

を採加した細胞器では不良調査物質業品が概念、その被認識大なる

長門のおちさん等である

その一般和策、 にぎむして、 を他に撤退したりして一ヶ月日上、父は科権を適用としく 最際に対明をかけてあるが離職者預問では、 た上、建築まから製成つた競技意、 供金所用五葉、 二三國以下の開金にれて市に地部政章は住宅総に樹、 るがすでに、 能力以上の講真をし、 た、今後は總裁変第個時間的問題、 既假の如く大意図質域と共に翻足一部後に続出て事になり内が中であ、 を獲収、 それた 人 最更減縮を行つ

百葉時が概念、その被害地大なる。工事をある、この時一方では思慮難発的 も建築申請手段きをなど政憲五人 し質問としても出来るだけ便宜を

ごまかして

るるが、名つた

過程電話を中心として単行された脚系画習に初めての戦みとして駿山脚条施設の検討が挙申から行はれ、小脚路が局別地盤技や

更に軍部と協力し完全を期す鐵道局

重要施設は夜空から隱る

鍾路方面

にの

さばる

良請負征伐

借家難の折柄内査をすっむ

朝鮮側から續々と發覺す

发用

づ商餅

遊戲合僧所にあてられた大同族群 かばかしくないので 【4月 ★】「月解附近の遊鮍香」に沈約なる遺族は、緑海作業がは

遺族 らも海上捜査に加る

川汽船に 辿り、背

には一個につき五四、仁川まで硬」た。なほ仁川で船では光気に乗しに向つが分派自ら徴展に光気は集しに向つの機関助計やボンノー新に収させる

に蠢く不良

たで来れば午頭いが行金をつけ死

逐に 死體の 捜査は

望み薄ミなる

動の長距離我が精鋭△馬術△ボート△ヨット△蹴球

◇前畑麋女子平泳に優勝△平泳の三連湖成る・△不響け!君が代世界の果まで・△水上百米恨みは深し村社五千米に四位△マラソン二十四年の宿望成る△問の椿高跳△椿高跳の顕権を続つて△田島三段眺△間の椿高跳△椿高跳の顕権を続つて△田島三段眺△

□元夫△八百米△百米△女子百米△待望のの力走△八百米△百米△百米△女子百米△村吐選手→金米→大学では、一点米△村吐選手・「一回大會明會式△ヒト

附 れたが、来た場に彼女は職群にめ 登 君(當時二十歳)の花頭に迎へら 田で十歳の時就被昌信町山六村七郎 晴

ざめた夫にたへかね様日泣いて春 してゐた、遂に七月朝東大川宮を 訪れ並いて漏へた、節目もいろい 直部 北西福道 事によるとは 石間後には銀

部成北 右间 仁川の潮時の

[今配] 啊

豫約募集

全部未發賣新設

芳忠

柴山放受添田旭光師の昇格技語前から元町二丁自金機報合樓上で法
我们就管旭光館では丁月午後六時

郑前琵琶演奏會

元(六日)正午十1度二 (六日) 益為一八度

おおの対路し頃の 音空 第2回頒布 第一回頒布

1 山の鱧に月かいる頃に月かいる頃に サッド・ルイス・ブルース カナ キャック オカ 第3回頒布 スペインの姫君う モー・ナ

おー・ドンナ・クララ

· SHELDI

概反

目和近村大高野石

良田藤上八橋竹川 部 銀一鉄 利 弥 太龍木榮三熊な千 点桐郎藏高士郎彦子秋

息のたんせきの

んせき

般たんせき。

金金金一五三種 十十 類 囬 銭 錢

全國築店に

合 名 會 社

丸石製藥市東區淡路町

總發賣元 大阪

त्ता

間に短細する方針であるがこれに

とうもろこし畑に埋め、何喰は四とするところを添へられたんをも残り殺した、死寇は附近の一緒地、男の念は端部に高飛

海神、男の金は嶺洲に高飛びせんに遊飲、女の時は目宅に遊飲中を

明治座開かる

千五百名を招い

て 京州県一 ら公司の

若妻死の諫言

酒のみの夫を悲しみ

現信礼事員の侵遽に型する語質時これを問題として削除された

制度の改善に置き一二個形式れが利用の根本はあくまで確信としてはことは個質で継信局としては

が利用の根本方針について研究を

釜山海軍協會 十三日發會式

担当及のため今回海軍省から新陳

時用個門頭話本部では海軍を事思

に作る領罪の地収 | 東年四月を期して値上げに住り利

居守に直然順行ならならずことに 問責には、男子能再加によるべく

『海軍映畵のタ』

とうもろとし畑に埋込む

鬼畜の不義者共謀

ら失ど惨殺

通行過数の提示等これ等に要する

然と野門に士三日支部関門はるい

くる規定である

遞信局の

增收對策

即有力感を描き離ま有機良が氏の振動について来域の異細節) 高次開終披露は同日午後一時から耶行、干五百名の即一覧) 高次開終披露は同日午後一時から耶行、干五百名の印一 わけで、一つの名物にもならう、なほ開創技器公司第 「論る名だ」の映為あり四時中盛光雄に終った、

日のぞうに飲酒、家託をかへりみ 製作音程の度、金氏(To)は大が経言――京城新常町二三大ノー三大 ないので常に諫めて来たが、六日

造武みの天に死をもつて譲

君は直の興力さめ附近の病院で手 をもつて夫に陳言した、悲いた臨

能 京城葬儀 社 一

ボート二艘顛獲して大騷ぎ

| 旬知人の郷田町二一裏前が(元)|
| 同重二大菜祭中仲町(元)|
| 国五二菱濃蓋 寛紅子交員 金比押 (元)|
| でよの三人を辿りを辿したります。
| ではずが吹き切る窓原で戻した。
| に貼らびの歌千分を逃した後度します。
| 上 ト屋佐州徳万からボート□

四十餘隻の行方なほ不明

の連維船

死傷者十九名不明廿七名

無等山丸から報告

日月の光夢のごとき平和た鑑||伽地|| 袋とも順置し五人は池中に飲り出 | 二人は続人同志であつたといふ近

ら舞じてゐる翼つ最中、ボート二一合つたまる別化した。しかもその

戀愛の二人は溺死

歌が楽しく若き伽に響えなが」との1人は無数にも手を跳く瞬り。 五月午後十一時頃前山町 二八一級のポートを浮べて男女五人。 されぞのうも三名は数はれたがあ (旅談し) 沿事であつた

の蠢動に備

兵器を急配

人たりとも寄せつけぬ

國境警備陣の

金婦した、危く脚派に延加せんと 職町瓶子頭石炭浩 ご方から出火

【大印】朝刊四報、五日夜半二十

| 稲有の事件も一覧者を告げた以下 出して観惑もつて解決に弱ぬし、 界には何等波動を超すところなく 観能将米省はいづれも資産を投げ

経営局でも影響を重視し金融機関 あつた所謂な紫華性については聲

酔つた岩も

の精米所の経

悲鳴をあげた精米業者 **শ**誉難から空券監發

一時はなんと百五十萬圓にも上る

不正の十一名數珠繋ぎ

動を開始したの策大な處置を講じ取満べも一段 柳事局に送致したが加して海州財 一落を告げ十月五日關係被疑者十一 名は一世群和と共に海州地方法院 る学教の穴埋め整理を行はしめる 理されて確認されたのを認端と 型されて確認されたのを認識という。 が入版する利果のもとに至の食 が入版する利果のもとに至の食 が入版する利果のもとに至の食 が入版する利果のもとに至の食 が入版する利果のもとにぞの食

移出米個級工作の無肌により盆上親の生産地検査や鮮米は制等上現の生産地検査や鮮米は制等 して資金軽担の概求所間には漸次されてあるうち一時は自立十 設されてあるうち一時は自立十 返国といふ河の台や遊弊による 位の融通か行はれるやりになったため支援の強重か行はれるやりになっている。 つたため支援がつめまさは早くも

興産貿易精米部は四五六島間の上朝鮮人有力者等の出資による米所の經營難はいよく一支昭化

た城村別野でごが總域、紫元伽野(密勢になつからず六月午前)時頃。 月下南東では若い、人の魂をこっに城村別野でごが總域、紫元伽野(密勢になつからず六月午前)時頃。 月下南東では若い、人の魂をこっ (15)と我に鄭蘭頼を出し三名を助したなって頭も輝く守を購り合った。 緊地に現実すってく郷徳中のた城相別称(三)が總域、殿を破我 | 鞍歩にどつから半六月午前 二時頃 | 日下南家では春い二人の魂をいつ

粉米所支配人出致經(♣1)▲海州郡 陶地町一一一精 米所主神州郡 陶地町一一一精 米所丰

■に成れ来席 十三周に見り海 ・ 一直ので奏をあ行 ・ 一直ので表をあ行

十二萬五千圓の對策きまり

九側に亘り海州

温整理することに渡した

納まつたが、今度は郭氏が右切であるとて本告訴に及んだものであるとて本告訴に及んだものである

直接個で本明を投げ出して1

重役全責任を負人

豹變隊貝歸順

も統正には発も軽減をかけること。明清四名となつた一般単二加級ひきれぬ分ありとする。期間隔層清二十余名を含し行方不

配に四千国。海州金組に 十三百八十五個除一十四に亘り海州

九萬一十二代

▲朴貞藻

――一個海州金銀に一干 一二十三萬旦二十二四 正雄氏館に同本社に於ても飽くま

である。の不應在學をそれが、動行應句に満くこれを資情して概測したのでありついたこと数数したもので一般嫉死には大した問題したのである。 て整理されざる未資訊は理覧技芸でその責任を引受け荷主側によつ

全州で就類

高橋盛大堂

樂局責任製劑

百十三名の多きに上つてゐる

運送詐欺

金泉を荒し

中であるが、後等に大同選送店 上版に直接を古殿が事族で改画へ 受益策"と及びに川大加運运店を 子園を持ち出したことある量かが は膂つて全州本町二丁目素は孫 干風の軍数を励いた特殊で概事を 1階はれてるた際はの商品関格 て金張が面の商人からり

血塗る車輪 狂奔牛車に

疫痢等に

金灣是一一一一日子多一時期半山 [海州] 被緊那被緊面痛急里亦大 幼兒觻殺さる

所で秋季福度を實施中であるが、 | 南三へごと左回輪に横き曲死せし |本年は幼年見資を手として四子二」めた、信用智では金を出域度調中

毆り殺して 处體を棄

の生活をなし本番「難に鞭じて家フエー・エンゼルの女話にと流順

| 所削に行動れた発北生れ根果("と) 際に引渡し新町共同製地に躍つた は機能の結果行路死亡者として所 【大師】去る二日午後帯山町湖峡一の熱力で死體を解酬した 大邱剛候所前の行き倒れ 埋葬後他殺と判明 ひとのみち

掲すと結婚出張ねば死口とて所決 ま、一方男の方は二週間ほと前、|

ゆつて個人と燃伸となり将来も **ららも根が未断者であることも子**

の及び金製石(一一両名か形果と画 の上で戦略して戦り致し行権が亡しては最適自政十名の多数に及びの上で戦略して戦り致し行権が亡しては最適自政十名の多数に及び に連んで何噌は知順をしてみた事」で動物へ歩を辿める者が少くなり 支那へ波及してゐるが馬山支部と この問題が遊場する中外間を恥ち

ぎすると解析に使用したとのこと

焼り三十圓に縛られ明れて一緒に 間電があり内三十個は返院したが

るあるが、同しる女には六十四の 浮に切り狭心のほどを見せたこと の面削で小刀を振つて胸部を一文

が五日夜に宝つて徳山町企作之

なれず措金を返したら京漫で独議・春に見せかけるため順記測映所則 大学した日午後一時衛軍局の指揮になった、結局解散の外なき領域と時間被大部署では事性を国際と、自己のはまれての場合になった。 一般と共に塞地に赴き並や大島内域。で一般から城市されてるるのでは、大阪地には一般のの城市である。

八夫賃不排 誣告を加へ

網架の約束を破り出資者として人 (任在支渉はぬとて雇用価金請求 源氏は西町野月成氏から正開分 通知] 既戰、西內本町二丁月軍 二重の提訴 深夜に借金懇願

主人の枕元に罷り出る

| 顕著収測べ中である | 蘇弥に闘ける』と立ち上つて居外軸では去月二十九日米徳郎源氏を のな主人は「今郎何しに来たか、 郷月成氏は毎面源氏を指手取り指、鮮人男が飲入し、就設市の主人に一部月成氏は毎面源氏を指す取り指、鮮人男が飲入し、就設市の主人に みるが、開新心事例と願いし更に「岩里宏迦玉方に年曜廿五般位の朝 部間を清州住院支鵬へ提起されて、【十編】六日午前二時領平「群龍 【中編】六日午前二時第平「野川」を動大が選起、平川第二回出た 若者騒がれて逃走 日元その他は不明 で直ちに係ばを断して機能したが

は繁殖館の人間増加を賦行すると、させまいと簡単統に整備単終を過一階実治単に探引され間署で取割中 は繁殖館の人間増加を賦行すると、させまいと簡単統にという。 は繁殖館の人間増加を賦行すると、させまいと簡単統にという。 は繁殖館の人間増加を取行すると、させまいと簡単統にという。 は繁殖館の人間増加を取行すると、させまいと簡単統に整備単終を過一階実治単に探引され間署で取得しましたが消滅の出頭で自然を包れ は繁殖館の人間増加を取行すると、させまいと簡単統に整備単終を過一階実治単に探引され間署で取割中 をよかし対応の不過期から

女給哀史

檢鬼された 二人の戀仲

胸倉庫荒

賈込みで足がつき

二人組繭泥棒就縛

ら江際に観光して朝鮮側にその歴 統八百歳、彌顯三十般英能を消破時、 思談の変動は活波となり盛ん 簡、機脈焼、手榊弾、像棚鉄、小

「らやつて、とう」(一部を取りにとの話して何弱のの建物やら何や が 高長か見るに見乗わて の保安課長だつ い商品あくまで関格手間を民産 お前はあつちに行って居れり、一何といる馬鹿なことをいふ 一時の保安組長だった石川で

「大郎」まる五月甲後五時は一起、で東神へ取調べた展去す十八日平丁月原館與何申子(2-) 不成 一 「大郎」まる五月甲後五時頃上記。で東神へ取調べた展去す十八日平丁月原館與何申子(2-) 千度名目と 前六四〇位と木家総氏住軍害町五 後六時師中間の季治元(2-) 及季館(2-) 本日女職の一年の結果、兩人は総総を一貫六宮四十成貴八九七が、不 東町会康を使って投入五月入り一次即今であることが報明し即日版 正島らしい句が大窓に備れたの 金七十面位を説取したものと報明定した。脚子は支球性孔で大角響で重ちに七星町交番に担田で、同 女七十面位を説取したものと報明を上下で登場・平断の撃る男に続いて関することが報明と即う経済といれて変となり機能が出てて走神。 べると季町二五甲記方に至り件の してるる機能で単編日窓も折り取りた。 つたが、脱鉛しても、おふりか

[金州] 道保

命だ、決して注配をいればそれは音楽しおばそれは音楽がなりかへつ 技事がゐたが、滅法 程信は立規模が指す フスでモウ危いとい

【馬山】和教人の道教育問題は各 馬山も解散か 熱消炎 射同 物せる心臓を強化 モン綜合総内 ◎凡での疾患による心臓衰弱は一 樣の速效あ 回乃至二回の內服にて奏效し微弱 本劑の主なる治病效果 ス 效力著 (有一种) 室井茂吉先生(永泉科) 朱田忠吾先生(永泉科) 朱田忠吾先生

服

藥

推實獎驗

用第も差支へなし。
本剛は乳兒小兒に適し、又他藥との併本剛は乳兒小兒に適し、又他藥との併者に用ひて效力最も著し。
産褥熱、原因不明の高熱及惡性下痢患

本剤は葉效を本位として最も共高貴な本剤は葉效を本位として吸引が経動の確して共顕著なる效力に就ては臨床諸醫けつゝある實績は如何に本剤が有效適切なるかの證左にして卵量が経動の質を受けつゝある實績は如何に本剤が有效適切なるかの證左にして吸量が経動の質を受けて、

簡顯 (水及)二日分) 金五四八十詞 金三五瓦入







南海の歌

――その二――漁季への準備

7

た幼兒雲隱れ

仲よしの二人の行方判らず

定州に怪事件突發

ある、強の女 だ関子(m)が本町・ は本町二丁目の自宅より通報して「清州」工目午町二時頃、岩地事

つて小石の岸を洗ふところに、獣々として網の目わしすのたりのたり就以上の呑滅さをも

後一人で寄合び継がに外出した主」「帝を撃撃したが消息に依然と戦の二人の子供は平業中のよい戦び」たが行う不明、戦日には悪に最終したが消息に依然と戦い、 かいてう 不明、戦日には悪に最終したが消息に依然と戦

【北州】六日午町一時ごろ光州町

光州の火事

脚組合料配金法屈氏次男間はつり 環氏の次女殿淑(**)と同画定州金

【定計】 | 15 円 円線波響所設記金車 | ま日暮まで二兒とも贈宅しないの | にまれてゐる| 離して鑑安で附近をも臨なく禁し| 也まれてゐる| 離して鑑安で附近をも臨なく禁し| 也まれてゐる|

て今中前具の手入れに除念もない、名話もな おらう、改取機嫌の予和はことにのみありと よって疑される一様の観査と実すへの健実で 助名もなくただあるものは魚頭の多班に

拠型される、離版そのものと影響の緩か無付たがらの関集。情緒は慶盟の真治いたる庭に たがらの関集。情緒は慶盟の真治いたる庭に

に訳けてゐるやらに見えて厭です ▽△お願のあまり大きいのは智性

↑優い、むしろチョコレート

ね、殊に洋炭の場合等ドレスとの一つた色がよろしい。頼礼、口礼は

調和を描じ易くて

▼▲館を小さく見せるには、元づ

壁形が一番大切です、豊通館が大 隆島をつけ、置も黒い歌の方がよ

そしてアイシャドウも飛過くして ダーク系のを置目にお使ひたさい

公りポ.坊テペ 電 趣味神(巻9クゾイカ) 富

要も大きい方がと思は一ろしいでせる

きい方は、

れますが、反對にお髪のびつたり一マムお襟は反對に肌色配の自めに

に効果能です、ウエーブやカール

なあ」ねずみたちも、 「ハテ、なんごかよ

ところに穴があるぞ

「オヤッ!あんな

「ポリさん僕がひ

る鼠のはしこのかは りなんです。 ひもを

たのであるから、形に金棒

立つて来た。

はへるミ上へ登る

その板は上へのほ

もだめだい、あん

はいで下さい。のはこの板を一まい きうけましたよっ

た方が、餘程頭を小さくみせる

顔い廣ついだ せ見りそ細

を顔

3

中月一げいで大気すべての鳥が挽

せんが、換材所は変かしはじまり

い頭いがあつて一緒には申されま。同日離原の中でも島によって早

五分すり餌を與べ、換別が終つた。気をつけてやります、風邪を引く

っな、すり餌の小鳥は、換羽中は

職島、自白、山雀などのや | 島ほど逆流力は掘いものですから

出来るだけ獨領にならないやうに

日間】 小年報等月レントゲンを 思しまして最楽節にリンパ線が はれてふると立にれカルシウム はれてふると立にれカルシウム 音族接近ないもので細胞いませ らか

が必要であります

白いところが滋味をおびてくるや 紙の捌給やあくのために、徴所の

て當手の紋

ふのが野通とされてをりますが、 めに、自然を彼にあててしま

紋付の紋をよごAloないた ◆無被付の彼の手當◆

用ひますと、上ほど添くなるのが うですから、眠のかはりに質問を

しませず、時々出して風にあ

べく遊り物を掘り適度の運動 射の外アーオー」の注射等も

く試みられるのです、其の他成る

と思されますが之れが治療としてとすれば多分賦門淋巴腺のことか

て淋巴腺が腫れて居ると云けれた

は一角部ねにある『カルシウム』注

制真を撮つて費つ 本田 博士

「開」 常仕九歳になる男子胸が

重いあたま

様に上下、殿とたつであた押

とが流行してある。今までは

入を経一つ、即も左右二つに

(ま)な(し) て藤平に いゝ小島達も、秋冷が増すにつれ といふものを異へます。これは そろく 風邪を引いたり、おたか ば那変の茹でたるのを三のまゝ から、これもまた心色です たべさせても結構です から、これもまた心色です たべさせても結構です

ŋ

ふ時にぼつくり死ぬことがありますから、換羽朔中の部急が

人削になる時ですが、すつかり気け続つて、

もらいると言

番大切なのです

と違って「とや」といって換羽期に入り、羽毛が双け鯉って 時候の鯉り目は、小鳥の最もいたみやすい時です。秋は春

て果た」めです

りした疲労と迅弱が一つべんに出 に、風に當てたり、水浴びさせた にひょつくり死ぬのは、換利期中

ります、この時に (榮)養(を)

万くらんですつかり綺麗にたり、 に私のやうな毛が生えばじめ一ト

るには、選挙子を入れたところへ 居主する細かに耐んで水に入れ辛 子水をつくつて興へます。辛くす

ゴトモ

世界知識 のための

の住民は何處か遠方の島へ移住し が澤山繁殖するので、百五十 ダーパンに着いた船の報告による ようと考へてるさうです ン・ダ・カンナでは最

二年則コロムピアの密様へ出掛け

女アフリカ……コヒーの密題 する最に弱つてるます。この影響がソヤではコヒーの質に整つて黙

終った小島が、これからといふ時 るつけるのです、せつか、機利が

ろったなと思って、注意してやら 本でも扱けはじめたら、とやに 良い利が扱け終むてあますから

すと、羽毛がぬけて汚なかつた肌

からして報をつけてやつてるま

(格)別(の)

に分け、下が行手の顔を

日本館長の押入れは天體中

愚.

すで頃なしの押人とするよ

の御入れとし、方は上から下

一方は今まで通り三尺幅上で

本田 博士
 三つ宛できると云ふことはかしていたりすると胸帯が苦して、何 切め肌を足だけに水がか出来です。 起る間に神代病とも云ふべき神場が見たせらか、 生境十ヶ月の しる間に神代病とも云ふべき神場が見たせらか、 生境十ヶ月の しる間に神代病とも云ふことはかしていたりすると胸帯が苦しい。何 切め肌の心臓などの心臓などの心臓をせらか、生境十ヶ月の

設施症だと思はれます、次の連が

で手のとよく範疇で天井近く

れは潜標過野や飲酒、吹煙の過一です飲はそれは具偶然で別にた

総金原書や不規則的生活等を一した意味は無いものと思はれまし 食鹽の齒磨は

間單洋服棚 押入を利用して

をはつして縦の板壁をつ

・・上は夜具を入れるか野に一本の姿を渡しその際に

た時でも、風邪を引いた時でも、 ありませんかし、おなかるこわ そこへ和日のきれをからせる にかけて気のきいた細君だと一般にかりの洋服頓筒で失敗し 通の部別となり、洋服は座敷

た人には、大いに重置かられ

の三方をされいな壁底でほる

娘みがき粉の代りに食甕がざかん よくないばかりでなく恋透散した

りますとこれを調みがき初の中に

かく味噌が干渉されます。人にト

歯質を痛める

ること語具、たず

見いれる姿だが、近頃は押入 かサラリー

女……孤島の鼠

の戦るところに一番最初に誕生しした環境隊がニューヨークから連れ を政作して、詳服をかけるこ

はどこで道章を喰つたものかつひ ークに闘つたのは数羽で他の髪り て行つて放した十二羽の鳩があり 最近跳つて派ました ました、二週間のらもにニユーヨ 照明文化展 意味から出産したもので、したが一ませて服かるものがありますが、 れは母體を滲めるといる家教館のに今日まで利用されてもりますこ

京城三越四株オールで開催。照明文化展が八日はら十四日まで 息電上階の の関みがき粉でも粉末粒の大きい きいので一層影響が大きい。普通に消費されてゐる食脈は結晶が大 ます。結晶の大きな際は歯質にはものは歯質にわるい影響をあたべ

して國みがき動の代用にする時はつてこの意味で用ひる場合は別と くする傾向があります。特に一般 結晶のため側質をしる ントはの水に

は漫透階も等しく味豊にも干渉せ | 一パーセント乃並ニュニパーセニ これはひかえた方がよいしかし命 も中生なので含味がとして服ひるづ、牧飲もさかんでなくまた世質 してうすめたもの

ふ都で、この戸郷家には郡先より の城上戸際山城守の父白宝齋とい つた 個日此の山中へ出かけて來て怪し 既はる一つの妙術があつた。 い老人から、一生懸命劇法を敬は れ以来佐助に、雨の日も風の日も この老人と申すのは、攝州花隈

桁の注覚があった。

こんなに美

足を急がせて來ると、其所に

質に天下無敵の働きを見せた。じてゐたから、敵を削にする時は 然の伴山城守と他に敷名あるばか。みざうもない。その中に族の眩。 女妙を極めた、 見交、 正常にも長 き、父は山中に薫り、 この盆時ぞれを極めた潜は、自霊 所謂、忍びの銜といふもので、 自宝帝的で諸國を修行して歩 この妙断の 取らうと考へてゐたが、却々、 を確すやらに厳しくなつて來た、 、駈け込むと間もなく、雨は眠齢 暫時の間宿りと、此の辻堂の中 **やんだらば城下に行つて底部**

頻整理の立場発展変せは普及

ぬ美しさに

年間を一生懸縮修行した。 動は、この片僧自己部に就て、十 一の時から十六歳までの定掛け六 土地、金道と五道の街があり、 湿術には、木道、火道、水道、 天性の身際で、共の上天力に生 個、則後を忘れて高州でね込んと が出て、ゴロリ横になると、 るばかり 佐助が、この注意に入つてから

めたうへに、甲賀流湿胸を會得し れ付いた佐助が、武備の懸崖を極 の近付いて来る紙屋!それも ||過速は複数として、時に風の音が 初度にも近くなってるました。 何時か、雨は歌んであたが夜は およそ一別あまりを過ぎたか、 **正常の附近の木の葉をゆすつて** スルと、哲時して、どうせら

絞り染の色 讀本

近代花嫁美容讀本

生一度の晴れ姿

がなくなるので遊めたくありませ のお髪と少しも観らず便利でよろ 域はつのかくしをなさる方が大分 しいですが、額の狭い方にはお品

れば、立版なお壁が結へます。近 た方でも、闘まですれー、一郎にあんの厳密でもベーマネントをかけ

云ふところにこそ近代花葉美があった荒したり、食寒不膨になったりも『明明と観歌の匂ふやらな』と「不足になり癖で、彼に迷惑して服なりました。郷し解い設位の中に「戦戦勝前はいろ」へなことで聴聴 うとようし トースト等極いもので耐次調節す 来主した見た目には普通 眠るやうにしなければ 一方食事は果例や野る

我の選化粧は年と共に流行らなく

昨今はいくら花稼でも所謂お人形。るのです。

今が

換羽期衣

越小鳥部岩瀬柳一郎氏器)

風邪もひきますお腹もこはす

小さい鳥ほど抵抗力は弱

しまずから、一日八時間乃至十時

てゐた。 甲賀流忍術

小花線仕度の一つの兜れでせら 少くなつて来ました。職能にと云

たか、老人がニコー 前に倒れる、スルと何時あらはれ と、智が壁をあげて、パッタリ

く笑つて立つ

諸國に避避なさしめ、天下の形態

っために、この土地土の着をし

奥州を掘つて、上州后崎の城下に

佐助は、信川路から、越送路、

てから、天下融資の動能と探らせつたが、幸村が九度山麓に開展し

として、咸田家士明士の一人と

と近代役を倒め、後、幸村の郎

忽ち新品として再だ

役立たせます

みや古楽は色褪めた一反の御召物を みやも染は衣類の化粧劑なり一瓶の

《大阪商船贴出机

伯 Œ 鶴 美 翡 演

衣

類

「どうしや小性!、何故足器に富 出来ても、己れの顔を訪ぐ術を知 を配られ、他人の隙を見ることは られば敷削をならつても無命じず 言ふかと思ふと、老人の姿は、 敬へてやるぞ

やらに暗くなつて来たる

御

調べ下さ

早く場下へ行つて一泊しよう

〜急いで来る途中ポッリ

の、派手過ぎるもの、地味過 貴女の節笥の中には色褪めた

染めたいものがキット山程ある るもの、柄の氣に入らぬもの等

筈です、そのまゝにして置く

とは勿體ない事

に願き、四邊は、池屋をながした くまで来た。丁辰此の時、日は西

製





御染め下さ



濟が計れます、ゼヒ

お染め下さい。

キレイに染替へが出來忽ち新品 にも至極簡單にビックリする程それ等の廢物はドンナ素人の方

となりますから非常な家庭經

一これは堪まらん。夕 立だわ く色観めたお召物が忽ち素晴しに廢物利用染色に應用し相應し設置されたミヤコ友禪染料は特 い友禪染となり

最新友禪染は



人料染庭家

+

和新聞表式會批代理區 大學的概念 一門一支店回灣部 一門支店回灣部 一門支店回灣部

生した

出 本 社 雒

大阪市東區備後町三ノー東京市日本橋岡小舟町一丁目郷 株式資社 桂 屠 商 店

神呂奉行各道對抗敗式野球大館は

989

三階洋服賣場

秋冬に最適な洋服

會

ギ五 ヤラ

局者の言葉

と 相質骨の折れる机のやうです ・四を重能なく打たせたのは有難 ・四を重能なく打たせたのは有難 したか。どうも此姿では C

宮参邦、雅安商、歌迎館と廻り午後三時帯く動町事町の植木屋原留ムビック女子水上軍の一行は、飯の眩れもいや十晩もなく、明治神女子水上軍の都別庭第一夜、三日朝、帝都に明れの跳戯をしたオリケ子水上軍帝都別庭第一 あられもなや、水の女王、

(制限時間各八時間)

イナー三井アイ子女史を揺聴、基城三越では婦人子供洋製の三 三越で洋袋相談

お芝居と花くらべ

ほした何奉納佰の御朋立を以て御政策の豪を賜ら巡のダイヤ政止と共に御旅行御答録・華記に大勉祖和 ホテルの大勉強

調整と咽喉保護に健業家の必排練 間部の旅を挟りの味を願む。

れることだらう(歴異は、健心の『木目込人形』

皮膚泌尿花柳病 醫學博士渡邊皆

(6) 日活日活日活日活日活日活日(6) 10月1日 日 10月1 日末日末日 舘 楽 喜 日末日末日

の鐵則でな、一頭痛に

座竹松區



10月4日より5日間・銀夜三回入着なし
1 桃中軒雲右衛門 11,20 3,00 6,45
2 今宵は二人で 12,35 4,15 8,00
3 航空十三時間 1,40 5,20 9,10
(一)P*G・J・別が記し申詞 (二)・処ピング・ク
・ロスピイ中訓(三)・処プレッド・マクマレー
大人・五〇・現場が入三〇 場別場別画映草若園







高と 日報で進む日」の二作品

以上の三作は現在まはしとなって

再び逢ふ日

秋の外国映画集

江戸模様たんか節 京よさこ

社會合合造酒藤齋

名手ヴィクター・「び遊ぶ日===官の一本地」は十二トルード・マイケーたほ『信の一本地』は十二 五郎記者、館動すのコンピで撮影のは呼ばいの名件「火船隊」を開節

トウサンモ

上 能三本 蔵番



泉源の治陶的術藝と養教的學科

婆表未刊行の著作は約九卷に達してゐる。

が最も必要とする科學的教養の眞義に味到し

安倍能成

小宮豐隆

松根東洋城

矢島 祐利 編輯

吉村冬彦の筆名を以て普ねく知られる寺田寅彦の獨特の風格を有する文章

資本金參千萬圓

() 大日本地宮 會講談社

通賦 銀定 行期 貧業 務付

朝鮮殖產銀行

有質光

容見

州国本出交

が設置する。 を佐吉世渡り漫画問答和田邦坊 を佐吉世渡り漫画問答和田邦坊

スラングの 新年 原業 | 「明 ファーラー

徴言学はがらか話 をできた。 | 「一大学」 | 「一大学

の心験表された大長篇讀切の傑作 身に降つて湧いた大災難!劍難女難入亂れての大糟器。壇に異彩ある浪六氏の會心作。沒落の悲運に泣く美女中

河目第二畫

の方針は変質

ザミヤ卿の談話

所に現下の日支間阻をして英米 は 要需なものである。 日本政 情報に よれば日本政府の 方針

諸言傳はり民衆 法記 昨日來江蘇全省に既時飛城令が布 かれたほめ支那軍は積極的に防備

全力を識す際語

朝鮮の人は幸福だと絶讃!

師等に人媛の重光大使車中談

蘇の諸問題解決に

潜水艦超過噸數保有に對して

の情間に

新稅及び稅率の改正

新分を除き

昨日大蔵省から

發表

1、 預金價據以外の通價税率與行 甘皮しなければならぬとし、没金 これらは迫つて應義される哲問 の 一面 国国 内 一社 調達利子に特別の考慮が顕まれても 米だ原質中のため米定であるが、同一項間及下 二十銭 調達利子に特別の考慮が顕まれても 米だ原質中のため米定であるが、同本質を発音を表しても 大き原数中のため米定であるが、原動用を引き、という という という という という という という という という に独行利子 一般時報の加京就等、相談が、砂瑚の海道が高さっての。

制整理による

、食田、田本田 (12年) (1

た五分利國軍電数に比し署



霉黴伏潜·思疾核結



現出の度沃機有性活

ノ倍百五千の布昆量有含度沃 しな用作副も毫好良收吸化消 し有含をD·Aンミタイグるな富豐及度沃の量大は一エ・スオネ

| 「日文國英の制造、別いては東盟の | 郷よ八日行はれる所介石田との館|
「日文國英の制造、別いては東盟の | 郷よ八日行はれる所介石田との館|
「本元十だけに、將氏の出稿別別は | 方の姿態は優雄の秩定を見たので 騎台舊軍官學校々長室で

十二月卅一日を以て副別失効に ※ ロニイギリス政府の損害がわれら 左の

三十八四円 東百曜 + 九 三十五 地東四 + 九 三十五 り間は 円円円 益 思疾臓心・退滅カ精

質體弱虛·弱衰經神



英國が日米に提言

他究中で本月末までに具握化する 修設制度関立門の組織につき組み 一節たので同心間を排版すべき

注目の川越蔣會談

味ひつくかる。元より政府常局

かて経々が地でれる外部性拘禁? 「父メルショに就法案の翻定を

風力の失墜を招いたメキシコ政府 にして始めて出動でた方法に派へ 見にアメリカ資本の別に即頭す 反倒にメキシコ政府を財政

被投資園の一切る支配し、図底 徹せんとするに据ることは勿論で にも、人種他によ後等の塗芯x 民法が個壁されたい限りまた必然

移民機能のみにても南米ブラ

か、専情所の知ぎを見たアメリカ

題師にこれが原催に扱めてみた。 メキショ政府の登痕でも所はア 家併呑運動なりとするにあった

版つて現れたが用版政策はそ

日本の教育を斯う觀る

ヒロタ・テラウチの流行

組合或は解の水産、減塩塩火は支塩

事務は等の変態段を置きそこからしたロシア人の異様から生れてあ

脚に重點をおいて漁群を探し、追 漁師の水平の継続を逃離とする報

祥湖南部では海洋崎なつものを作 | り月本附近の地圏の海上に、天宗||李の||釈説報告に振いて試験場の海 | てゐるこの海洋湖は天宮と似てを て報告されるのである、これ一般して修り形に斉嗣保持に配布し

をなすといっても過言ではない程 ねばならない、年々深重物の製出 農業器は遠く網絡の海にも進出、 で年間にもこの制度の領域を急が 発進出の意識は最初科學を動員 出来る「漁業月報」の存在が大

農學的一 近 橡

萬

上版成が形造にあるかを疑ふもの音をはこの移民法制定の目的心

日本人に對して絶對の信頼を

八國、居住、監業等に職しても一定 民に対しても知宮師を選用し、問題はこの移民法が日本よりの 「宋だ詳細を獨知するを存ないが

國の流脈を示す機と同じなに無罪

「あることを接続は無数してゐる、 べてくる」と平常とゆしも難つた」 あが日本(及ひ文庫)のが伝鏡質 所がその眼筒試には『ニューロー 制度を相常率つて蛇獣し、眼鏡の「ク密新順哉エーガット・ネル・スー レンアにはからした単人道條語は ターンの反反は親つて良原奈息を サースーにはでいる。

間段移民法の策態は實に職天の

たとないられる。新移民法の内容が足し、これが即日實施を起表し

、キショ政府は新たに移民法の 移民法制定

キシコの新

いふ物語りがあるが、その中には

題をあつかつた「川崎の赤星」と

所が、これに對して断が反対の火 の数を減らすため年源十ショング

から追ひ出せ

過期を暗び飲んで風化を楽し の農業はなく、復等が言ふの で言ふ女節といふでうた獨特 は所測シロウト女の酒場に出 がたさらになつもやな

月本ならば差づめ

忠質な記者

裁と云ふ男は此内間つての振動家 ニニーヨータの装新開社に聞いて

上にならない者でも日本の独乏人 「だがいる日ケタペマシク鳴る意話」に成功、野気態能楽の鋭趣の的 られるなどと覚しでかに続け日本。走らせ之を驀緩に廻してから、1、一線と管撃用の変融ったを形かての子供達は五線から影響を強闘せ、を耳にするや見速脈微派にベンを一なってある。ハーザエー氏は7 れるなどと質しやかに論じ日本一走らせ之を警察に選してから、一

|の野通教育が世界に冠たるもので | 寸面白いニュースだから詳しく讃| 艶養その他極々の野菜の中味

盟配表でもある時初のて仮女等 青天井の下に出られるとか、

チュッマ(飛松所)に等しく

楠木繁夫傑作 護が名詞の解散で譲つはレコー権水繁失力名詞の「節々々ない 緑の地平線・白い館の町男のまごころ・啄木の敷

器七〇九一 城京都紙

、汽車質割引 师八往復六十九二十人以上三個 方法 葡萄間内ニテ架シク遊ビ葡萄喰べ次第 、場所 安置籍北一人則 安茂果樹屬 約八千郎 安養葡萄粉,御案內 自儿月十九日 至十月宋日頃迄

●世界の然と日本の躍進時代……鈴熊師川島信太郎 政界夜話 英米の觀たる現代支那 一群満鐡道の一元は果して質現するか…… 古代内鮮關係の一考察 月號(第三百四十七號) (中の明二十段)

・京城等界展望 ・原染病發生概况 ・外毒の話 南總督と語る一句 う展開するかり 南新總督の施政方針 を開するか 教は **西西美國上順** 戶 計長

■日本を描いた最近の英文小説 喫茶店街を行く 風聞駄語 朝鮮満洲の財界と事業界 濟生院育早部を拠る 金い坡の詞藻断片… ラヂオドラマ雑考-滕塚教授と派堂 **一部 解 群 及** ※無衛室より

提替京城一三一章 提到第一三一章

見科

B

院

トゲン科紫外線呼吸病・胃膳病

意味本町二丁昌四五

村温壁 担兵職 八年 (大連行) 東海 (大連) 大連 記・語の記されている。

有信草名者及店得百 音注名品 似鞘气

杣會式檏棄築堂善慈 元 🛚 🖤

で 参
置
ト
ミ
ク
ロ

自丁三路硬城京

代验出山道襄

響度

・ 水域寅雄
するか・・・・藤井安正 東京虎之門隱士 山田道元

釋尾東 邦

西學 明出获野正

城北隱士

諸留 寬 和川貞一

交供士 交性上 本誌記者 記初

+

本の子供は三級にして取くも懸飾」の意言を終ばれるものであり、しまさえてである。と助義し「日」群のほどの最も強い風として、 民族精神愛園郷他主義を大墳的に一で特に五月五日の宿街には麒麟り一 は野英雄とかり持ちとか勝利とい

立変がする所のカナリヤモの他の て唯一の第しみとして店る空政宗主もの、陳樹といふのは『徳定師に ひ匿い』と題家にた、然も花の事業領が非常に増加した領東、収々 特に類似したのが『オーストリア でいった は出来ぬ、就会収立に中止して貢 市中は他近極を織つて、間に押しかけ「猫を向ふのに見る より外ない。こんだ可以相なことを搬はねばならぬのたい値を設定

京城府西

聯灣胡陽告館 田香斯·馬 中住寶·山 村客義·山 夫一乙人

公禰資本金を百廿萬圓とし

等かの形式でこれに統一されるも

先づ三會社が合同

撤は本月中旬の食気であつたが、「見本市即夏酸は十、十二兩日臨四

【羅角】秋田縣及び秋田市主催の

羅南で貼く

作つた玉蜀黍を

るので塩山林線では明年度からこ

買らずにお腹

大當はづれの鎭南浦産組

日穀との契約フ

【離南】児島新知事の下に明備さ

さらに延期

秋田見本市

の機運熟す

金融機關

四十五郎、十六随の三役合計百朝鮮石油の村谷店は六十五陣、

おける恩建山里政府議の路上職人

平元線敷設

お陰で

躍して大成金

昭和七年ごろに比べ約五倍に騰貴

それでもなほ賣り温

一十一年によった。「一十一十一年の一年の一十十一年の時間を見たのですか」「大野政府総監集化の都合で、また

道工物産原列的で用風

ひどのみち信

[新]

もうこれ以上は照ら 日下像定さ

は信仰の動向を内能してゐる、

無念!鰮

四部賦は雌や一下六日早朝賦境が「相関特し賦職当所調部院類の大概ため四、五兩日城職に飛撃した七一下する七三部隊と同漢非を決んでため四、五兩日城職に飛撃した七一下する七三部隊と同漢非を決んで 石油統制に悲鳴をあげた営業者 の大群な ・逃が 脚隊演習地に向ふ 不府に臨時割當を陳情

一千餘圓 詐欺横領

同で場に雇けれ併祭問製、維務 (美中野隆一(こ)は昨年六月十 元山土木出設所成與工地

ご自慢の萩の手籠に詰めて

て油類の鞭を人が説増したのによ るもので腹際は統計上より (保急 で国際人間総方販工による)六十一機総され成果地方法院で把弾中の一部から大量が多を受えるが、このもので實際は総形士より(陳宏)何れも劉明豊に使用して示山器に「しく向上し生産も交流期して大阪 同年九月下旬まで威興、元山、馬から百十個屋取したのを手初めに 宮崎で四十七回二千倫面を昨取し まで飲扱した結果協立は技術も著 て智能解入確定の意思を告げ同店に解入権を指している。 河底死 一架地丁事材料勝入決 して瘠、手館、栗、林橋郎は勿絵以及各郡で細丁加丁証時間を開催、萩の利用法に就ては近では一昨年 風雅な鉄行子、

二年の求刑 會寧の大掃除

ー米國から

に達した野陸呼吸の情况は次の通 名を拉去 暴れる共匪

が不通となってゐた外金剛、 元山。去月二十八日の水器のた 一部的近の鉄道総路は六日午町「海事思想要及近隣の映画を大勝留 外金剛高城

町四時四十分離列中から直通銀板 呼振然なり元山秤城間は同

得れば積極的

福積編物工業合

大阪市北京井町三二天 古 會 特約販賣店募集

あけれこと

業副の手軍

時らざる整弦 する南部電

全く金銭づ

美術人形態關於

今縣 今市 郡 地方 ・ 大好評!! **資**行無限 ・ 大好評!! **資**行無限

国本 回通の無料政党に

得らしてるた 大郎ホテル

[延吉] 鞆

日年前十一時四十五分着の「循地經典國境地方へ向つ課長は超洲各地道派のため」九節歴句令部を訪問年後

右の釈迦利用のスマートな手窟に 祭に使用する平園県の建文があつ

鮮満人

凱爾事件

山林館支部に米閣からカーニバル「掘宅で知事以下的節、脇位際域のの解釈知二般婚組の事を通じて道」し處地道では五月午前川時から質

打合呼を行った

道山林會から發送

山 安設の新製と収が六日出 | 江州東後部長も臨析、大総関館と関係関節のが出来 | からに前井東後部長も臨析、大総関館と観光の次日出 | 江州東後部長も臨析、 昨年より十日遅

「延言」既殺、去る。日頭温温の

双方を説諭

羅南域婦事務所

地が集合してあたのであった。原

超集、午前十時二十分から製合院 - 編南旅祭署では五日僧内無祭官を - 温南 | 編南 | 編南 | 編南 | 編南 |

細辛、五味子、三枝九葉草など

改式近線大館は五日午後三時年か ら輸出球型で開催先づ路線型の段 山林課で販賣斡旋

軟式野球 先づ釼道勝つ

○第一回兩車無路○第三回邊道

兀山の

定の三百行はおろか一行も繋ぎら「家財消費も原込んで駆に参強い賦しの日百行はおうか一行も繋ぎばらしてみるが、明年は参少の自己はいり本登段場に建工。百を「供したと戦明、際政一同収討実を

【雑集】米穀自行省理の質能に開

「元山」 協協野場部 基本第一回の

米穀管理打合會

(諸層浦) 産業組合では日本報館、ぬので調査したところ配利出聞票 | 子を配布し大々的に整動する

は慢良美味なため各農家で食棚に一になつた

盡きの愛着 小倉大與電氣社 咸興で感慨を語る

【蔵典】大興道常純長小路武之筋一治い器湖を述べつゝ 近は開始観典支配を厳聞き信能は「歴」と言う(〜お頭と箸をもがれた近は開始観典支配を厳聞き信能は「歴」と言う(〜お頭と箸をもがれたに親遊した茶餅のため五日夜来蔵」:」と語湯を述べした、近脳紡励の

江陵の第二

天水法の被性状況

以 大反同泛派] 二七八反时流失 今 大反同泛派] [记述] [

先づ安邊から七叭 延吉縣の 農會改

活则を開始

でこれが改善

No English

遺憾の監多か

事官衆び)同様仕)副貿長は左の通り 四することに がところ去る で無当 **店本旗國間平**電台 院洞西條四、都京

















も見事な出来で に収度で発行 で現底で発行

動會 0 5 0 A

巻劉抗リレーの 十割九時から校

野た



厚さ約五分に達し

田路のため四

學館を謝するところあり知事、所 八日は關係各方面を認め、永年の

氣の毒な數千名の罹災民

邦に動しては威興のため金一封等

恰も二十五周年

畏き聖旨を顯揚し奉る

かして前年同時に比較すれば機 と好調で網部九四二十三百五十

忠南の記念計畫

したが脚線がは何れも思想の漢大 忠柳/分院・地道が供納他の漢下財金帳連戒を取行 名でいづれも監論した。 日本の一方院・地道の一方院・地道の一方院・地道の一方に、地道の一方に、地道の一方に、地道の一方に、地

忠州分院地鎮祭

|水原]|三日午前九時關係色面長

に動行したが能災民は七百二十一 を動行した に動行したが能災民は七百二十一 を動行した 式は五日午町で時日統制節で嵌か

金泉兩菩校運動會

出入總額五二二、七六二圓▲韓本衛田入總額九、五四○圓▲移

主として四州面内面の生後六ヶ月 頭の種脈を認識國へ蝦入させるが「清州」都設置では十日、韓四十

部米数統領組合設立登出的は五日 【国城】米数自治管理施行に作る

を競ぜられた順町の穀板大郎川盛

所では豫ねて八重町光明寺横に新

から総合官が来消、設治な機能を「心性を懸めることに決定したになるパークンや他で同日婚光順、都會議能で明催、十一月までに同

州格奉告祭

物使大野總監を迎へて

諸行事のプロ決る

【研營】他失民教育即下賜金傳送

御救恤金傳達式

大邱貿易

九萬岡增加

清州の種豚

も施し検査を行ってみる十頭に豚、コレラ酸肪在針を二回

山本府尹は府政一般及び管内状況

と諸般の語案事項の報告を行う話

大邱の穀儉

新應合竣成 ちかく移轉

米穀統制組合

固城で發起會

満洲へ婿入り

たもの交は教育教育に開催ある時 手工、手製品および数師の範

期成會を組織して

積極的の促進運動

統營開港

政行動制の全文父は一部石

【筆出】 後川工業作器部では開棚 たつた

→有声が即合し打合せすることに つたが、同時に邑間誌の功祭常故事する事に決定し近く商予曹瀬所 昭念式を以大に銀行することにな

邦を能照する方法として仲勢義邑 水阪着、十六日旅海、十七日早朝 や祝公の名を練つてみるのと多数ある質黙に鑑みこれが参 名、馬匹三百頭は十五日午後五時 なに畠では亘下その他祗 |神宮に登釈したことのないもの極||他の蝦科隊を合する將兵一千六百||簡、開振政勢響の影響式も行る響| 貯金をも質問するとになってある。中継でることとなったので、宿舎 日本将所に在地元分所統部、町總 の問語その他に開し五日午後八時

回は合主の結果になるのでなるべ なは国では目下その他組みの除典

孝行少年 一家の支柱

の四人家族は四年至の小作院です。人を呼出して金郎長からボーイに「少と長男に獲って次男に変って」ら方針に出て、五十年前将即配まを来なるが側に埋へすがた。大き中山とは近くに照らして後に続け取締 「清州」学行が年を付入が変形し、不快を資本など眺々の輸電を生す。 かんり カラ竜 一のに促付けるので暖を慰着が起り ふが如く我祭派は老者の身とて數一を提供し予告の料金を請求すると 風居住主教(安全。)一家は赤貨洗 に現扱ったが営の求めざと戦闘制といふ英談==湯州郡将倉面様 るのに養み、湾営署では従三大日 語してゐるが、是女も労働、固定給を嫌つて客に押以りさせぬ 十里にもなるが、客が要求もせれ

が家部の困難を重り女に代つて一ボーイ對策をなし歴だいので長男の仁媛少年一やうに殿重言裁した ボーイ對策協議

ユウインガムを取つて小語、その

を は参加へ大提び行列を2、工管、列

・ 財験使生徒の銀行列、第二、大野の保証がの報行列、第二、大野の保証がの報に端大に銀行。 第一般校生徒の銀行列、第二、銀行、 第一般校生徒の銀行列、第二、銀行 は 第一条 を 現参加へ大提び行列を 2、工管、列

顕過要認司令部権関係) **勅使大野總監**

ら一個の報酬もないため既答にす

【清州】市里二代の朝鮮料理街

押し賣り厳禁

朝鮮料理に 清州署殿莲

關係者長め

四十四萬六千八百五十四国とたつ 石山加度気によって保発品が九百 【室山 過酸所民の節を切か

北、代財、紀むの各直に総にした。他を取締の寮南、慶北、江が、助の他を取締の寮南、慶北、江が、助の総が掘中であつたが二日被服との で近く締切り資金の密が金銭も相當を前に達してゐるの 【馬山】工設士二萬団を投じ哲学

馬山高女上擁式

立面積は六萬四千餘坪

起工の準備も整く

清州街路鋪裝 即事に竣工 避かし来る廿五日地上権政を繋行し所領置墨を設置された中の馬山大學校は着「以来」が同じ、長過記に開書て民内に

近く具體的協議貿を開く

日签山にて指名人札の結果習州行

間事業として施行される音

配さ各々無益合同試案の作成に取 人日から十一月末記録旧日経に取 日かりつてなり来る十五十六日は、要する響き生異は五月石中宝十七合日前級を持ち寄って具版性協議、人国の教徒である 氏は合同地郷について夢妃の交換 だち六日夜大野無磁密肌支配人室館を贈く機様であるが、これに出 **越して脱北道内四無龍頭配では各一十名に増加してゐるが、本年は十一人大甲】本府と遺蓋島の方北に腹。ことが顧文釈明し組合遺も三百五** 建海、頭陽無機質能長いと主の南 四社間微妙な動き

大邱農林校

稻荷神社へ

初穂を奉納

のところ微妙な動きをみせてゐる。 郷事配されてある合同的語はこく 問題に歸して上城するなと極めて、昭荷大明教育へ客納したが折断状 夜水率状況報度かたとく無磁合同に関熱 をなし、交西田道理帰源長は五日 水原栗共販 に四熱した初梢型を元町通り伏見 【大印】四林製技では同校献表出

希別、浴供類を無行した 学大祭会行中の**和何社では神**前に

本作したいとて四日、清 屋棚されてるた高屋の習作は遊街 廊で見が配布が 「木棚の 発行の という であるが、期間配資の有利なる 日間部書でき広苑と解立二十五畝 に官臣多を 「木棚の 発行の という であるが、期間により数字を 「木棚」都及び愛園婦人館分館・中央に低道と駆切られた道へる歌。を続けて収費の総部と釈迦と行び 都川分離館はこの釈迦で、去る二 (周男) 事でいた。 「本島」 事では是の期間出資組合 「園域」 まてから確求中であった 「編男」 直にした口中でカダム・ローラを他 が 大田の 美行の という であまった 「編男」 直になります。 「本島」 事では是の期間出資組合 「園域」 まてから確求中であった 「編男」 直にした口中でカダム・ローラを他 が 大田の またいら確求中であった 「編男」 直にした口中で が 大田の またいら確求中であった 「編男」 直にした口中でカダム・ローラを他 が 大田の またいら確求中であった 「編男」 直にした口中でカダム・ローラを他 が 大田の またいら確求を解立二十五畝 に官臣多を

固城鄉軍會館

地を生じ短りの栄度者上郷世州の一帯で有の風水気で石油の収売体無水の高水気で石油の収売体無

間)、四条天子非を三十ケ月の籬(既然があり人語には集団であると総を顧する延長(千三百米(七百)であるが、同館爾は開発または遺(昭和館配地先)地先百二十米)「保護のもの八羽に通ぎず戊戌以外

家內工業化 生産を奨励

郷土の水禍に

温情の義捐

あったが製造工場四共他小規模の 「製造につき逆旋茶品で間が中で 【室田」は近前を紹の小工業とし 一語しく確認を増加した近内の靴

内地出稼者から

清州署へ照會駅

州智へ義振金銭附の戦闘かあつた

で立
高局では
生産
影響
に
取いて
目

日午前十時 神符祭、午後二時 日午前十時 神野政等祭◆十七 日午前十時 御原所選等祭◆十七 明夜祭◆十六日午前九時 例祭 【大印】題北本年度の總金貴山加一街路側を植栽の響(独真はその工 **学削力時四十分若別型で来るし「校戯で秋季原型質胎工参削する大野談符記』は十一「神社参拝、開十時三工** 山神心の列格を伝統に動使と 十一日釜山へ の災害復售費 神能を拜、同十時二十分から公二 脚台跡には既報の通り出版那些が「道路を作り御護影響安庫は班野官」の合に診断することになったが部屋「あるかくして後間の正門から東へ 部下事も幾乎するので廿日領新職一館らしく開発は一萬二子面程度で 米間間に連続し十五日までには四 「永同」消防組では六日十旬七時 馬山府廳竣工 廿日頃小越し

すべく日下其間気作成中の機器で

重展1○四、○

追加豫算二十九萬八千圓 大方道路河川改修

秋の金剛山

部関的、路景部、線コ、成立的試け出郷の害。 期期的の防空波がも無事に終しし たのロ七日午後二時から公門・行 り作上就海壁湾町中で哲士の他生し、つて六日間の豊尾で金剛山へ向山本館野の三指導部長が主船とた。場所支船でも九月百十名の原設を · 加州平、石原设施製器可令四、 釜山で開く 郷別支那でも九月百十名の敵政を 秋を探るため作今、釜山へ上陸す「宝山」旅行の好時節となて朝前の 五丁五名、何れも金剛山の秋色に つ開館等が供給増加し五日夜は門 探勝客增加

驪州煙販灯廢止

丹城刑事を命ず 依顯免本職 処山理事を削す

長端院に開當て四内には利川股政

網にしたり全管脚を利川、樹平、

「法州」顧州境が収益所は一日的

あるいろう

▲川可統領税務署長 欲知品から 一日成大に動行



大邱府廳舍新築 その前提に武徳殿を移轉

具體案作成を急ぐ

極野及び東門町と東雲町線道官會 ところによれば騒音新築の前提と 懸含の新栗龍町について仄阻する して来半度爆算に振内の武徳殿が 【大町】多年町ばれてゐる大町町 年記念式を開催

では、近いで、大いで十七、大り脚を消染を翼型するのではな際大に突虎は、整行て、大いで十七、大り脚を消染を翼型するのではない大に突虎は寒を跳てした行う。 いかとみられてゐる、耐して武德たり賦食新築を買掘するのではな クを設ける東本町孔子廟路にガス物をガスの殿前を待つてガスタン 殿は現在水道館の食用その他の建 紫煙景氣 大邱管内は 凄い賣上げ

開催後に退き新道路から北側に整合の一部に移し桁兼官金庭職は三 六百二十年の温明に移験させる方 る千四百年の土地に近路会を新築 趣語を奏でてある、九月分の内部 加で帰属だけは風水性による不 国にんぞとこ吹く風かと聞か 九月分煙活役渡島は七十三萬五 十七百九十六回九分四厘てる大僧

刑務所大勝 金泉の野球戦 一、一五二十十

樂林冶秀懷

、尿道を侵しつゝあつた無數の微菌

つて排出し此時已に快感を覺ゆっ

は藍色に變じ覗きリベール臭を放、腸粘膜よりの吸收速く服藥翌朝尿

本

劑 Ø

特

|、薬効を確實に識るにはリベール

うみ去り痛み快よく消散する 由り體外へ洗ひ出される、由つて は服薬後勢力衰へこの穀崩性尿に

州が所 1212021 9 州が所 1212021 9 **灭同公普校運動會**

馬山の惜別宴(罵山)

忠北辭令(五月附)

州加上命草坪豐校勤務 (開度) 金属 慶南金組異動

今や輸出先二十ケ國に及ぶのも蓋し絕大の信用を博し旺んに賞用せられ

効果の特に優秀なる爲である。

告

の需『激増し各國の市場に於ても亦

自家尿道洗滌又は局所療法等は、

徴

みであつた。今日世界的にリベールの製剤に苦心研究したのは貝此點のの製剤に苦心研究したのは貝此點の

の連用に依つて早くも蘂に慣れ其後來の治淋蘂等は多くの場合四五日間單味の白檀油球やバルサム球及び在

現象を視る事が出來る。 **鄭後に日を追つて黴菌の滅び行く** にて比較檢査を行ふのが早道で服 服薬前と内服後の尿を採り顯微鏡

薬の選擇を誤るな

何旦服用するも容態に變化なく不相

▲ 欧本 · 加银馬山 · 皮质 · 防主任

處の薨店に販賣す。萬一品切れの節指名あれ。內地、滿洲國、海外到る指名あれ。內地、滿洲國、海外到るして信用箴き特製リベールを必ず御 **决して他薬に迷はず、優秀治淋薬と** 然似まねばならぬ。 な目に遭つて後悔する人が多い、 起したり睾丸炎に罹つたりして散を菌を逆に奥へ押込んで膀胱カタルを 價觀 七五 日 中日 三二

本舗より直送すの(送料不要) m M サナミ日

本 舗 竹村製劑所

P No.	江景朝鮮酒造組合	遊戲西島寅吉	朝鮮物産株式會社	尹 山 而 長 哲		*	1260年21日	5/2 -12 -1-
			久我伊之助	林田久仁男	農君	清道 郡 聽	慶 網 北 道	七百三萬
	外職員一同	會整 尤卷醬油釀造所 湖南線江景錦町	佐々木幸喜	藤		多山君属	金融倉庫時官社	
····	江泉公立商業學校	汇景穀物商組合	近景本町 長谷川商店	論山穀物商組合		北 Li ^道		FI FI
	等武 藤 不 二 夫	江景繁榮會	堀田定一	秦 《 榮	代表を松永榮鶴の屋旅館の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	蠶 桶業組合	
		江景出張所南朝鮮電氣株式會社		各城論山林川窺岩里扶餘利仁豆溪連山恩山陽村石城鴻山	小		同一吏	FI E
+	松永善吉	料理 錦 水 園	國武農	第五區向上會	花枝山金融組合 山 根 二 郎	入口界	北 尙 慶	
	江景土曜會	江景本町 湖南線江景西町 湖南線江景西町 東務取締役 中原計正 東務取締役 中原計正	被 資中清 一	論山支 吉良 長 主 沙 外 職 員 一 同	电压定义 文章 心	大邱商業會議所議員	八 八 外 野 逸 三	
va a sa	元露石	惠本榮十郎 廣瀬健二郎	朝鮮產業城會社	立普通學校		朝鮮運送株式會社	高震 繁 察 署	成氘
	江景本町	一星 商 虎勇	江景不二點張所	原料	忠南自動車運輸 		一	月十年一十和昭 TI
	高喬 青 长 沂	島川支店 製品等項 開工 東	高島仁平	黄 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田	論 山 霁 前	大部院	安東警察署	(共)

最見した で選売業になつてあるのを 標本の指の標をにもりながらゆく 関で選売業になつてあるのを 標本の指の標をにもりながらゆく ではつてかららと大邦に提つて ではつてもらと大邦に提って ではつてからなりをがいます。

受けました。私自身の成績では「干穴百五十二両に達した田さんの指示と共に大院撤職を「び出版師の京教も九十四等は位」一七と見られてこるでは「私の報の京教も九十四等は位」一世と見られてこるでは、「韓を順称して持り出き以上の戦 水害地の娘さん 女中さん教育!

前岐所では肥散の如く屋南風し、毎山河峡所の間が散岳の内容 釜山測候所 に立命り、

釜山測候所の學究的報告に基づいて

本府から係員を現地派遣

放て開催されたが秋朝の好時に惠| 取章一箇と現金二百六十一明六十

舞り頃々たる匪襲

間は去る一日より五日近公園院に 泉城西部主催の京城工業を共成党

成功裡に終る

英玉での京城東大門外根女に見いる

に観察し、全婦一个般の風水声で山朗れを起した場。最初制度することになったが、こ

般が設面に現れた他婚胎帯で一般力して山崩れの場所及び配成を

身賣り防止と女中供給の爲 愛婦隣保館が旅費も支給

|職や紀では変処物的本部の記| なほ職体経では水空地の娘だちの| とが報明・月下京域府域内に保管災害地域が必ずの教育策と| 底、郡、面界が所に申込むこと | 削散三宅怠災氏が保管してゐたこと。

財住の簡単人離大震(元 同人長女)

又も釣り錢詐欺

今度は巧妙な手で

江岸 出版所度 對岸技术炉 北方山不明の正医共興七名か! | 技術管内

戊に向つたが、六日午前八時飛締。朝年人金國衆方に侵入、折檀繁華。外〇〇名が七日朝六時出動、被抗

同型の北方的四キョの南陽直居住一急報に接した三夏男では後屋護部

のため南泊中の農事制元三置居住一致者敷接に向った

たが、六旦三長の射解に再配出版」の武装英麗が農事制制がに現れ、

二時半時有の題歌と見られる七名

一覧、五紅口直出方面に逃走した、一覧一半、現立三国、衣切原駐を掘

五坪方面へ郷建した、交上日午前「居住病館人襲張の胸名を挺致し隣別しあとの一名を 挺以、奥地 東「湖館人金半堤及び焼き棚、玉石道」

三長署から救援隊出動す

「南書信」成北茂山都上流道が の呼吸は歴史明みに消滅な行

た、三長宮では七旦気後出動的

発金。こ及び長林市居住側師人供

施一環境初め各都市へ配職方。 な製には放戦の支給も考慮してあ いてそれ等の教育の場めにも辞し 中に身致りされるものもあると関 とが報明。日下京域所は内に保管 してみる

と受難者の原郷氏名が訳を抑っ一切に骯髒、日復喧酷発金だけを釋「屈慕子郎で。私は呉旭町ポールス――その側の文部は受難の改議」策選(*6)の三名を拉蚊し附近の小「七日生養主時年記录歌行法斯長崎

潜水作業實に九時間

自分が持つて行ってやると切に作得も受け此の家は鑑力があるから 登すると、安勝則させ候庭の男が

取罪とした、概々と思る間一独行 西大川等では翻起となって手配

> を絶すれた、朝鮮男で犯人物在中 つた時別領土敗職、時似八十餘四 に健則を破り怪猫使人、店頭にあ 店では六日夜から七日朔までの間

城大文學講演

八日午後七時から近民都中談覧で 城大文學的公明時间的第二回は、 のて来いると対ふ ので店 段を間四円上に以ふから十回ご教題を

京城野川町一六〇スイス時間材料

時計の盗難

錠を破つて侵入

◆ 一省高度が異性利金の機構者 ほる配鑑 智楽主義 無対したした にはいまずり 下げ にんぎょ といもようを見るうとう 明ガコーニ 単五音 御神伝としてこ 作者の表げられて に九時間、中野流水大・他一名に関 てに川に帰転したが現み体解表の一般和であたが、大人の子供でも、加金配のて配の起った十二月の六 (七月年後六時仁川神から本郎場)では近い時間 から歌 密しして記述される (七月年代) 「七月年後六時仁川神から本郎場」では近い時間を認めてから版「徳んであた五、大人の子供でも、田を配金川とし、原子月間神伝として、「生日年後六時仁川神から本郎場」では近い時代か永宗島の彼方から版「徳んであた五、大人の子供でも、明ガコーデュ半五音御神伝としてこ

遭難現場に又もや黑雲來る

危い路上の遊び

後押の子供轢殺さる

れたが詳細は肌山器で取割へ中で 細能した、他の子供は単ひ難を必

衛生の普及

異動氏も騒を整つたので、目前民

関した治は、凝山和梨北直管単独。この織を制に、経時のこれらの投資を鑑成したが、その内分元の戦 この織を制に、経時のこれらの投【仁川・善】七日惣立際は完璧五 てみれてあり 大金持つ紳士離れか

五死體を發見す

間保の支拂ひ

for and constant

国を課かせながらテープを持つ

十八萬二千圓

一跳試験器でも健康を施行してある 一度指には競響の上極度延を設する とになってゐる、有期間中馬強生

九日から賈立て

遺愛の珍品

向後同國刊行書 の入 荷品は固より

計算致すことと相成候に就ては

約貮贈六

分

安取取を

從來 以て

今

般

佛 換算率

Ø

變

動

K

因り不取

の對

奉願上

候

自

多大の犠牲乍ら在庫品全部を擧げ同率に 減價可仕候間右御諒承の上倍舊の御用命 ŋ 度

善 株 定 會 社

本 支 店

ASCENTISE ROLL BOTH 京 (東世界·島田県安)

※ 京日案内

電話四次四級資 電本三三三二番 柳 昭丁子屋町 明治町入口

+

短期二ヶ月ヶ月

金融

を カネコガ 村 上 一 信用低利にて極軽迅速に御用立

り

幕

自作品を含れ 大田柳郎の 下店 員 総計は関係の男子 中内に棚食なるに順人を選択や米解 中内に棚食なるに順人を関係を 東京 解析 郎 瀬 眞 解析 東京 本が側四五 本が側四五 本が側四五

・ 甘彦朋族のレジスター係一名 和望の方は毎日年 町中に米蔵下 でい 71 日 灵

24とに七日県本町総設を補助せしめ、同塾皆内の配合から近地飲食更を樹華局に即では、数日財から更良鱗世入り商人の所能的単位を禁知し内定を撤めてゐたが、 現職官吏を昨夜拘束

戦するのも一つの観象でもあ

十六ミリに映し出される情景 歌る人々はどんな人々であら

者は城大文科を設高橋亭氏である 明かれる、欲題は、朝鮮の民職に 上事落札の

が八升の菓子となる シが八升の菓子となる

リード式膨脹機

紅城本町第石田和事部長は六日夜 に関して各札版利のたらひ廻しを 散調(中、同人は紫建築上事 たらひ廻し

自然回復促進劑









京城府路別型の九月中の成績は次

家畜賈上増す

大大阳九〇段 (元) 三三、

二四六五四個間二七七

盛官省指定工場

第二条 東京 南品川三丁目 編纂 0.021章 ホニエ湖 東京 南品川三丁目 編纂 0.021章 ホニエ湖 東京 東島川三丁目 短続 (44)1080番 流洲門給所 幸天 漁 城 庙 り 間 橋東天6667章

女店員採用

てき、付けたがら掘ってるた、疵头綿で、まして、やがていつもの綴に蹴るして、こうい綿をして向ふの感を懸み、てゐる助学は知らはずはなかつた。 マドコスパイプを口にくはへたま、の芝蕉に眺ばつて且向ぼつこをし | お老紋紋はひどく不像蜿であつた | 超つた この小さな 出来事を 校路

いつた変し気が良くか良いのようなながららか良いのようながららか良いのようながららか良いのようながららか良いのようながらながららか良いのようながらながられたばからながら対に関心ではなが、温突の感覚にいるというななものではなが、温突の感覚に対するかなならないというない。

最近一ヶ月間の船町船敷は三萬七

千四百州五辺で、町平同助に比較

朝師報母の各地議財史を通過した一して六千八百二十六段の領地を朝師報母

期便・十四 けふの天氣

船舶激増す 一ヶ月間二萬七千隻

特别案内